

令和元年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された「農山漁村振興交付金(農福連携対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第15の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和元年度に交付金事業を実施した北海道内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が3地区、良好と認められる地区が2地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

●農福連携対策(普及啓発等推進対策事業を除く)

【平成30年度採択】1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H30R元	R2	R3		
農村振興局	北海道	夕張市	夕張農福連携協議会	●	●	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

【令和元年度採択】4件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H30R元	R2	R3		
農村振興局	北海道	千歳市	合同会社暮らすと働く	★	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	恵庭市	公益財団法人 道央農業振興公社	●	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	今金町	一般社団法人 i・スマイル	★	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	美幌町	特定非営利活動法人 マイスペース美幌	●	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要綱第6の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(農山漁村普及啓発対策及び農山漁村交流対策)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学教授)

委員:市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学教授)、木村宏(北海道大学教授)、森久美子(作家)

【令和2年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日時:令和2年9月17日(木) 13:30~17:45
- 2 場所:【Web会議】(東京会場)農林水産省農村振興局農村政策部長室、(札幌会場)北海道農政事務所 大会議室
- 3 議事概要
 - ① 令和2年度評価対象地区の評価方法について
本年度の評価方法について、説明を行い、了承を得た。
 - ② 令和2年度評価対象地区の評価について
令和元年度に事業を実施した5地区について、取組概要及び評価案に関して説明し、質疑応答を行った。
- 4 主な意見

第2回評価委員会

- 1 日時:令和2年10月7日(水) 10:30~12:00
- 2 場所:東京農業大学
- 3 概要
 - ① 令和2年度評価対象地区の評価について
令和元年度に事業を実施した5地区について、評価案等に関して、了承を得た。
- 4 主な意見